港　防災だより

No.12
2013 年（平成 25 年）9 月 1 日
発行人／四日市市港地区自主防災組織連絡協議会　　会長　奥村吉孝

『港　防災だより』について

港地区には、防災を考えるうえで多種多様の問題が存在しております。
（例：埋立地（地震に弱い）、海岸線（津波に弱い）、臨海コンビナートに近接、住民の高齢化率 40.3%）

これらの問題に対処して行く為に重要なことは、住民／企業／行政の相互理解とそれに基づく活動であります。そのためには、日頃、この三者が防災に対する情報を共有し、活動することが重要であり、その一助としてこの防災だよりを発行しております。

自主防　地区住民／地区関連企業連絡会議報告

平成 25 年 5 月 10 日（金）13 時 30 分より、なやプラザにおいて、全 56 名が参加し（地区自治会関係者 13 名、地区関連企業等各種団体関係者 27 名、行政関係者 16 名）開催されました。この会議は、地区住民／地区関連企業の防災上の連携を維持向上させるため、毎年開催されているものです。

本年度事業計画の、主な防災訓練として、南海トラフ巨大地震（津波）に向き合うための津波避難訓練、避難所運営訓練、グループ別防災訓練等の実施がありますが、これらすべての防災訓練では、災害弱者の一人ひとりにまで確実に支援の手が届くことを目指すことが織り込まれました。
今後、地区／地区関連企業の連携のもと、地域防災力の更なる向上を目指すこととなります。

なお、連絡会議の後、昨年に引き続き、防災講演が実施されました。

講演は、**三重大学　川口准教授**による**「南海トラフ巨大地震をどう考え、どう備えるべきか？」**で、地区住民にとっても、企業関係者にとっても大変有意義なものでした。

グループ別防災訓練実施報告

平成 25 年 2 月～4 月にわたり、港地区の 13 町を 6 つのグループに区分けしたグループ別防災訓練が実施され、多くの皆様のご参加をいただきました。

昨年 8 月、内閣府より、南海トラフ巨大地震の発表があったこともあり、今回はそれに向き合うための津波避難訓練が重点となり、グループによっては要援護者の高所への移動を支援する等の訓練が懸命に行われました。

なお、この訓練は、例年のことながら、企業の施設の利用等企業の皆様の多くのご支援、ご協力がありました。有難うございました。

港地区津波避難訓練のお知らせ

平成 25 年 9 月 29 日（日）9 時開始

昨年 8 月、南海トラフ巨大地震（津波）の発表があり、四日市市では震度 6 強、最大津波高 5 メートルと伝えられました。港地区の高齢化、過疎化が進むなか、巨大自然災害に如何に向き合うかは極めて重要であり、今回は地区を挙げて津波からの避難に備える訓練を実施します。

特に今回の訓練では、災害弱者の一人ひとりに確実に支援の手が届く訓練を目指します。災害弱者も高齢者が多く、支援する人も高齢者ではありますが、お互いの命を守る訓練に是非多くの皆様の参加をお願いします。

訓練は、**6 か所の避難先**

《住友電装社、なやプラザ、本町プラザ、総合会館、中部地区市民センター、（佐藤クリニック）》に災害弱者の避難支援を織り込みながら各町が分散避難する訓練となります。皆様のご協力・ご参加をお願い致します。

■自主防災組織連絡協議会総会

平成 25 年 6 月 2 日（日）、9 時 30 分より本町プラザにおいて、吉川危機管理監・森中消防署長・中部地区市民センター加納館長をお招きし、住民・企業合わせて 169 名の出席者のもと開催されました。

地域防災への関心も高まり、当協議会の使命の重さを改めて感じました。総会は港第２市民防災隊　加藤隊長の司会で進められ、粂内防災リーダーから、前年度活動報告・本年度事業計画の説明があり承認されました。その後、本年度は地区の５名の方々から防災訓練等の発表を聞き非常に好評でした。

当地区においても南海トラフ巨大地震の発生が危惧されており、一層地域の絆を強めるとともに地域防災力向上、津波対策を推進していかなければならないと感じました。

■避難所運営ゲーム（ＨＵＧ）第１回開催

HUG は、H（hinanzyo 避難所）、U（unei 運営）、G（game ゲーム）の頭文字を取ったもので、英語で「抱きしめる」という意味です。避難者を優しく受け入れる避難所のイメージと重ね合わせて名付けられました。

平成 25 年 7 月 28 日（日）、9 時より「なやプラザ」体育館にて防災訓練第 1 回目が実施されました。

今年度は**「三重防災コーディネーター三泗ブロック」**の皆様に応援していただき、住民、企業計 72 名で**ＨＵＧ**を体験しました。**第2回目は 9 月 8 日**に開催予定です。また、防災訓練 3 回目となる**9 月 29 日**の津波避難訓とあわせ、防災コーディネーターと共に「改善検討」を実施し避難所運営のよりよいマニュアルを確立させたいと考えています

■いきいき面白防災　　港地区社会福祉協議会福祉グループ　白峰圭子

最近の「いきいきサロン」は１年毎に年間計画を立て、それに沿って進めております。
今年度は【面白防災】として（内容は至って真面目なのですが）1 年をかけて講座を開いております。

ご存知の通り、当地区は市内の中でも高齢者が多数を占める地区でありますが、だからと言って何事にも嘆いたり、諦めることがあってはいけません。防災についても前向き思考で、他人事ではなく、参加することにより、高齢者ならではの豊富な体験（これは若者には負けない点でもあります）を通して、話合い、考え合い、知恵を出し合いたいと思います。
これこそ【面白防災】の**基本の基**ではないでしょうか。

《年間計画》

初めに 「簡単体操 3 種類」体操を行う。
終わりに「港防災コマーシャルソング」を歌う。

４月・・・講座の初めに高齢者の防災の心構えと、最も簡単な体操3種類
出前講座「災害に強い身体づくり」（講師　今村先生）
５月・・・「防災袋の中身は？」みんなで疑似カードを使って入れてみる。
（この講座はNHKTV、三重TVのニュースで放映されました）
「防災グッズを見てみよう」(防災コーディネーター　宮崎氏)
６月・・・出前講座「災害に強い身体づくり」（講師　今村先生）
７月・・・5 月講座のNHKTV、三重TV再放送を鑑賞
昭和 19 年の南海、21 年の東南海地震体験者からの話を聞く。
９月・・・「東日本大震災のボランティアに行って」
ボランティア経験者　渡辺様よりのお話
１１月・・・「外へ出て自分にあう避難場所、方法を体験して考え・決めよう」
１月・・・出前講座「災害に強い身体づくり」（講師　今村先生）
２月・・・今までの復習とまとめ
３月・・・講座終了ご褒美パーティー
（講座皆出席者の表彰と震災食試食プチパーティー）

港防災コマーシャルソング

☆津波避難の歌（桃太郎のメロディーで歌いましょう！！）作詞　白峰　圭子

1）早よ逃げよ　早よ逃げよ
　ぐずぐずせずに　高台に
　逃げ切る者は助かるぞ

2）　物取りに　もどるなよ
　あれこれ　持っているうちに
　津波にのまれ　助からない

☆防災訓練の歌（星影のワルツのメロディーで歌いましょう！！）作詞　白峰　圭子

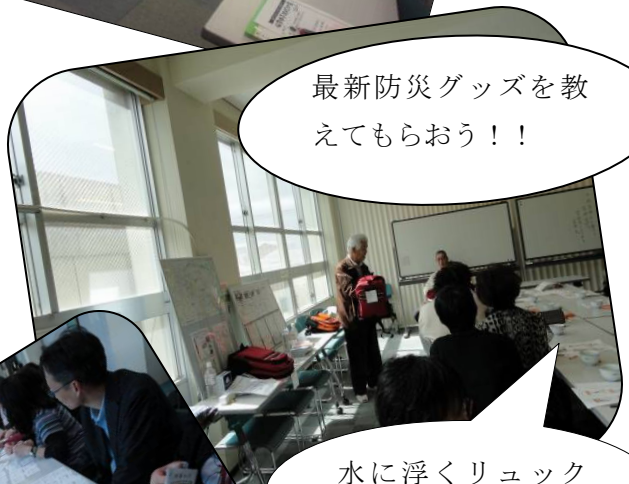
1）災害は　いつ来るか　わからないけど
　いつでも　準備は　しておこう
　ためしに　訓練も　重ねておこう
　　地震に　津波に　火事もあり
　　地震に　津波に　火事もあり
　どれでも　対応　　出来るよに

2）災害は　いつ来るか　わからないけど
　いつでも　体力も　　つけておこう
　ためしに　さっさと　行動しよう
　　地震に　津波に　火事もあり
　　地震に　津波に　火事もあり
　どれでも　対応　　出来るよに

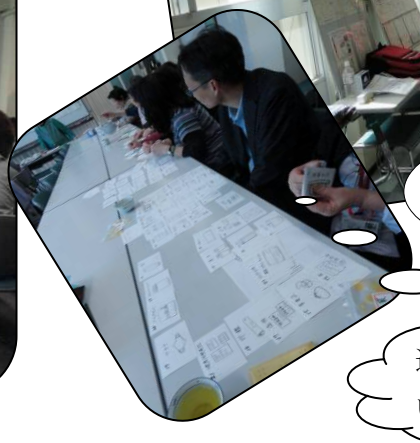
災害時要援護者にならないよう！！

さぁ～防災コマーシャルソングをうたいましょう！！

最新防災グッズを教えてもらおう！！



水に浮くリュックなの？



避難リュックに何いれる？？

トピックス

コスモ石油社定期修理説明会

平成 25 年 5 月 20 日（月）「なやプラザ」にて例年通り「コスモ石油（株）四日市製油所 2013 年度定期整備説明会」が実施されました。　内容は、5 月～7 月に潤滑油関係プラント、9 月～11 月に第 6 常圧蒸留装置の定期修理があり、それぞれ機器類の洗浄、点検、補修、触媒交換が主体です。

定期修理に係る作業員数は秋口に 1 日 700 名程度です。フレヤースタックの炎は、極力大きくならない様配慮し、パトロールを強化してあらゆる事故防止に当りたいとのことです。

コスモ石油（株）四日市製油所の定修中の連絡先

《平日　　8:30～17:00 総務課 TEL354-8700》

《夜間/休日 17:00～8:30　当直室 TEL354-8746》

♡ ありがとうございます ♡

蔵町の**四日市電機株式会社**より、社員の皆様がテーマ別に取り組まれた環境保全活動のうち、1 つのテーマの年間成果金 30,000 円のご寄付をいただきました。これは、昨年に引き続いてのご寄付であり、緊急対応として活用させていただきます。

中部海運株式会社と「災害における相互協力に関する覚書」締結

平成 25 年 5 月 28 日（火）**中部海運株式会社**濱田社長と港地区自主防災組織連絡協議会奥村会長及び四日市市千歳町自治会藤村会長との間で「災害における相互協力に関する覚書」が締結されました。

内容は避難場所提供・物資集積場所提供・資機材人材提供・救命消火活動・日常及び災害時の広報及び情報提供・港災害本部への応援が主体となっております。

これで、13 社・1 団体と締結しました。

パイプライン管理状況報告会

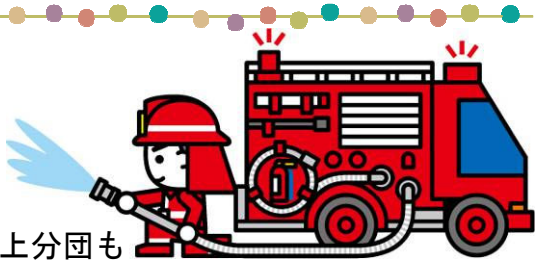
地区内に導管を敷設の導管関連企業 6 社（コスモ石油、東一ソー、三菱化学、JSR、中部電力、東邦ガス）から 3 回に分け、 この１年間の導管の点検結果等につき定期報告を受けました。この報告会は毎年開催されております。

港地区の高齢化進む！！

港地区ではついに 65 歳以上が 40.3%に（全国平均 24%）、70 歳以上の方は約 4 人に 1 人となりました。これは大変なことで、防災力の低下はもちろん生活経済活動・公共交通手段の縮小につながり地区として何か手をうたねばなりません。

単に少子化だけでなく、若い人達の転居もまた全体人口の減少による高齢化に繋がります。高齢化・少子化・人口減少の進行が進むこの地区ではありますが、防災力の維持など皆で力を合わせてやっていくことが大切です

第50回記念 四日市市消防団消防操法競技大会



日時　平成 25 年 7 月 14 日（日）10:00～14:00
場所　中央緑地芝生広場

四日市市消防団 25 分団が参加して火消し魂が激突、海上分団も暑い中健闘されました。地域住民の安全・安心を支えるため、全員が一丸となり頑張りました。

＊ 同時開催＊
四日市市消防団サポーターMACKSTYLE・すごいやん四日市うまいもん市場
体験する消防団フェスタ
サルビア分団の消防オリエンテーリング・はしご車・地震体験車試乗・応急手当講習

港地区第一市民防災隊活動紹介

隊長 中島 守夫

7月14日（日） 9:00～12:00
港地区第一防災隊救命講習の実施

なやプラザに於いて、大切な人を救うために、心肺蘇生法（人工呼吸・胸骨圧迫）、AEDの使用法、止血法、異物除去など、訓練用人形を使った実技訓練を実施しました。

受講者には四日市市消防長から普通救命講習終了証が授与されます。

自主防総会での取り組み紹介

港地区第二市民防災隊活動紹介　　隊長　加藤 亘

平成 24 年度ブロック訓練

《南納屋町・西末広町＆住友電装㈱》

平成 24 年度「南納屋町・西末広町＆住友電装㈱」ブロック訓練を平成 25 年 4 月 21 日に行いました。内容は津波避難訓練で、健康な方は「なやプラザ：2階」へ、歩行不自由な方は「住友電装㈱研修センター：3階」への避難とし、津波到達までの時間は 60 分との設定で、各町民は各自の体調に合った避難場所へ避難しました。又、港第二市民防災隊員は各避難所への誘導・相互情報交換を無線機で行い、円滑な避難誘導をしました。避難後は津波到達までの 60 分間、「なやプラザ」では南納屋町会長・九鬼産業㈱・港地区連合会長の講話を受け、また、「住友電装㈱研修センター」では、防災隊員・住友電装社員が歩行不自由な方（5～6 名）をイスを使って3階まで搬送する訓練をしました。その後西末広町会長・住友電装総務課職員・粂内リーダーの講話を受け訓練を終了しました。

実働訓練（実際に経験）を
行い、災害に備えましょう！！

知識だけでは、
ダメです！

自主防総会での取り組み紹介

みえ防災コーディネーター　三泗ブロック　　平田　将之

みえ防災コーディネーター三泗ブロックは、予想される災害「地震」、「津波」、「台風」、「集中豪雨」、「河川の氾濫」、「山崩れ」、「がけ崩れ」などの自然災害、並びに「暴動」「テロ」など人的災害など、あらゆる災害に対して、地域住民と協働のもとに防災・減災活動支援について積極的に参加し、取り組むことを目的として設立した団体です。

この度、港地区自主防災組織連絡協議会　奥村会長のお招きにより 24 年 12 月より会議等に参加させていただき、正式に港地区防災の防災アドバイザーとしてご指定をいただきました。

地域の課題に対し、港地区自治会連合会・住民のみなさんと共に「問題点の発見」「マニュアル等決まりごとの確認」「防災・減災の備え」について、何をしなければならないか学んでいきたいと思います。

港地区自主防災組織連絡協議会を中心に、各町自主防災組織と協働してタウンウォッチング、防災マニュアルの作成、避難所運営マニュアルの作成及び各種防災訓練に積極的に取り組んでいきます。

今回は、避難所運営訓練（HUG）に対する出前講座も取り入れ、9 月 29 日の地震津波避難訓練に向けての意識向上にも全力で取り組んでまいります。

高齢化の進む当地区の現状を直視し、災害時要援護者の支援を如何にするか、真剣に考えます。

また、災害発生時には時間帯により中学生・高校生の活動が望まれます。この人材を有効に活用できる趣向を凝らした防災イベントも取り入れて、地域総ぐるみの防災の輪を広げていきたいと思います。最終的に、必ず起こりうる災害から一人でも多くの人命を守り、財産の損失を最小限に食い止める「まちづくり」を目指して活動していきたいと思います。

愛知学院大学総合政策学部総合政策学科の学生との関わり

今年度愛知学院生 3 名が港地区の防災意識を調査し、自分たちの卒論にしたいとのことで自治会長会議・防災総会等防災会議・防災訓練に参加しています。

港地区の取組調査を進めるために 9 月 29 日の避難訓練時に学生が作ったアンケートが配布されますので、記入にご協力ください。結果集計の上、まちづくりを学習している彼らの視点での報告をもらう予定です。

港地区は、若い感性の提言を聞き、今後の防災に活かすことが出来ること、学生には、港地区の現状を把握し、地域支援の大切さを理解していただけること等、相互交流が意義あるものになっていけばと思います。

東日本大震災で被災した気仙沼小学生の詩

「ありがとう」

文房具ありがとう　　えんぴつ、分度器、コンパス大切にします。
花のなえありがとう　　お母さんとはちに植えました。花が咲くのがたのしみです。
うちわありがとう　　あつい時うちわであおいでいます
くつをありがとう　　サッカーの時とってもけりやすくて、いっしょうけんめい走っています。
クッキーありがとう　　家でおいしくたべました。
さんこう書ありがとう　勉強これからもがんばります。
図書カードありがとう　本をたくさん買いました。
やきそば作ってくれてありがとう　　おいしくいっぱい食べました。
教室にせん風機ありがとう　　これで勉強はかどります。
応えんの言葉ありがとう　　心が元気になりました。
最後に
おじいちゃんを見つけてくれてありがとう　　さよならすることができました。

《防災委員》

荒川　博	飯田剛生	家城宏光	池田輝雄	奥村吉孝
加藤忠明	加藤　亘	川崎光俊	粂内利雄	小崎重夫
鈴木完一	瀬川　宏	堤　　明	堤　利臣	寺井　勝
中島守夫	長谷川雄俊	波多野　通	樋口俊夫	平尾隆俊
山田正幸				

（敬称略・五十音順）

《協力企業》

石井燃商㈱	伊勢湾倉庫㈱	㈱エネックス	おのえ作業所
風薫会	協同海運㈱	九鬼産業㈱	九鬼肥料工業㈱
コスモ石油㈱	佐藤クリニック	三エスゴム㈱	JSR㈱
昭和電工ガスプロダクツ㈱		住友電装㈱	第一工業製薬㈱
大成建設㈱	大宗建設㈱	太平洋セメント㈱	高砂建設㈱
中部海運㈱	中部電力㈱四日市火力発電所		中日本建設㈱
東ソー㈱	東邦ガス㈱	東陽興業㈱	日本板硝子㈱
日本海事検定協会	日本カニゼン㈱	日本貨物鉄道㈱	日本通運㈱
日本トランスシティ㈱	㈱ニヤクコーポレーション		林興業㈱
三菱化学㈱	四日市海運㈱	四日市電機㈱	四日市港郵便局

（五十音順）

編集後記
この原稿を作っている最中にも大きな余震が東北を襲いました・・・。
同じとき、震災後に気仙沼の小学生が書いた詩を改めて読む機会がありました。私たちは自分の町の防災を真剣に考えていますが、東北の復興や支援を忘れてはいないだろうか・・・？一日わずか 50 円の寄付で子供たちに笑顔が戻る支援があるということも知り、改めて継続することの大切さを自身にも問いかけてみました。